

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和四年一月度 入賞句一覧 投句数 五百八十六句

大西 誠一選



持選

コロナの世共に生きたる古暦

兵庫県豊岡市 辻井 一路

コロナが始まって二年がたちます。アルファ型からデルタ型に変わり、現在のオミクロン型は、感染力は強いが肺への攻撃は少ないと言われています。ただ、若いも若きも生活は大いに変化しました。昨年の私のカレンダーは、行事の変更や中止が七〇〜八〇%となりました。中七の「共に生きたる」が非常に上手です。また、次から次へ変更されたことで、季語の「古暦」が良いです。今年、新しい暦で頑張りたいです。

古木にも既に冬の芽夢を抱く

不破郡垂井町 西垣 和志

いよいよ大寒も終わり、公園を歩くと、春を待つ冬の芽が一日、一日膨らんでいます。まだまだ寒い日が続きますが、コロナ禍に負けず大人も子どもも頑張つていきたいです。

浮寝鳥波曳き光る未来へと

大垣市 大原 巖

久しぶりに三島池に行きました。雪の伊吹嶺が水面に写り、いつ見ても大変美しい池です。当然、水尾を引く鴉が数羽泳いでいます。普段はそんなことは考えないのですが、今年こそコロナ禍が終息し、光る未来へと飛んで欲しいと願いました。

秀逸

長身の夫の出番や煤払

大垣市 高津 喜久子

たぬき寝と解つていても毛布かけ

大垣市 加藤 祐子

貯金箱開けたき重さ十二月

東京都世田谷区 関戸 信治

十あれば十の音色の瓢の笛

大垣市 村田 通夫

パリツと割る炭酸煎餅年惜しむ

京都府京都市 八田 弥須子

流木のことさら白く川涸るる

大垣市 高田 雅章

焼藪を割る幸せのふたつかな

大垣市 大杉 すみゑ

魅入らるる強き眼差し黒マスク

神奈川県川崎市 立野 音思

虚飾みな大地に返し山眠る

神奈川県相模原市 中村 光枝

数へ日や残せしことを一つづつ

神奈川県横浜市 龍野 ひろし

入選

一般の部

白壁に影絵の遊び冬の月

大垣市

立川 昌子

洗濯の取り込み遅る寒鴉

大垣市

田口 貞善

寒柝の一打相棒うながせり

奈良県奈良市

やまとなでしこ

冬晴や雑踏にいて聞く力

東京都北区

菱沼 多美子

おだやかな午後のひととき日向ぼこ

大垣市

宮脇 和子

冬日差椎の木陰の於大像

大垣市

小林 研

老いてなほ笑顔かしまし初句会

大垣市

岡田 あや子

秒針の静かに響く冬座敷

不破郡垂井町

川瀬 慶泉

猫よりも優しき寅の賀状受く

大垣市

早崎 美弥子

句作りを生きる縁に花八手

岐阜市

田中 淳子

幼な児の飛び降り遊ぶ炬燵

揖斐郡大野町

横山 三水

大根に出会い仕合わせ鱒頭

大垣市

吉田 てるみ

寒晴やなほも尖れる槍ヶ岳

愛知県豊田市

城山 悠水

白壁の土蔵に沿ひて藪椿

三重県三重郡

水野 悦子

護摩を焚く若き尼僧や寒の入り

愛知県津島市

カバ先生

米寿まであと一年の初日記

瑞穂市

谷 牛歩

寂聴逝きて閑散とした年の暮

三重県四日市市

藤田 勝民

留守宅はポインセチアと少年と

大阪府箕面市

露口 全速

天井を丸く掃いてる煤払い

岐阜市

船渡 恵

コロナ禍の師走の中の猛威かな

大垣市

福田 進

選者吟

今年こそ高き技へと初みくじ

誠 一

